

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月19日			
平成15年度	事業コード	23130	電話	042-751-9107
担当部課名	消防本部	消防総務	課	施設 班
事務事業名	消防庁舎維持補修費（2次経費分）			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	63以前年度
施策名	第3施策	消防力の基準	

2 実施根拠及び関連法令等

消防法、消防組織法（第20条 消防庁長官の助言等）	消防力の基準（消防庁告示第1号）
---------------------------	------------------

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
消防力の強化充実、施設の保全、各消防署分署間の格差是正及び女性消防職員の配置を考慮した施設の拡充を図る。	市民全般
	対象数 61万市民
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
施設の機能を保持するため老朽化した庁舎設備の改修等工事 総事業費（16,884千円） ・建設工事費 3件 16,674千円 ・備品購入費 1件 210千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	仮眠室の個室化等工事	当該年度仮眠室個室化工事 / 仮眠室が個室化されていない施設数 × 100	職員の勤務環境の向上及びプライバシー保全のため、仮眠室の個室化工事及び老朽化した庁舎設備の改修を行なう	13	14	17	20	25
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	11,997	17,878	16,884	60,789	11,997
人員・時間数	1人・279h	1人・279h	1人・279h	1人・380h	1人・279h
人件費	1,225	1,225	1,225	1,580	1,225
その他経費					
合計	13,222	19,103	18,109	62,369	13,222
特定財源					
対象数	4	4	4	7	4
対象の単位あたり経費	3,305.5	4,775.8	4,527.3	8,909.9	3,305.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	災害活動の拠点施設としての建物及び設備の機能維持について、災害時に支障をきたすことのない様に改修等工事を行なった。						
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている						
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している						
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 複雑多様化する災害に備えるという意味においても、施設の機能維持は欠かせないものである。						
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である						
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている						
	C : 有効ではない		説明 複雑多様化する災害に対応するためには、その拠点となる施設の機能維持は消防力の強化面からも必要である。						
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている						
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている						
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 災害発生時に消防責任が効果的に果たせるようにするため、コスト及び機能の面を考慮して施設の充実化を図っている						
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である						
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である						
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)						
		説明	消防施設の機能維持を図ることにより、複雑多様化する各種災害に適切に対処し、市民生活の安全確保を図ることができる。						
成果向上の余地				事業費削減のために取り得る手段と削減額					
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明： 築30年以上の建物など、設備的にも老朽化が進んでいる施設もある中、施設の機能維持は複雑多様化する災害に対応するためにも欠かせないものである。			手段	年々災害が増加していること及び施設等の老朽化が進む中、施設の維持補修コストを削減することは難しいと思われる。				
<input type="checkbox"/> ない					削減額	0 千円			

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		総合評価に関する説明 本事業に関しては、24時間災害発生時において瞬時に対応するため、消防活動の拠点施設として、施設の維持補修は必要不可欠である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--